⑱タンポポ調べをしよう

The Distribution of Dandelions

—植物調査プログラム—

この活動のねらい

タンポポには，日本にもともと生えていたタンポポと，明治時代に外国から入ってきたタンポポがあります。日本にもともと生えていたタンポポは農村的環境に多く，外国から入って来たタンポポは都市的環境に多く見られます。何気なく見ているタンポポですが，タンポポ調べからそこに人の手がどの程度入っているか，そこの自然が見えてきます。

調べる生きものについて

飯沼(いいぬま)川周辺で見られる日本にもともと生えているタンポポは，主にカントウタンポポです。まれに白い花をさかせるシロバナタンポポも見られるかもしれません。一方，外国から入ってきたタンポポには，セイヨウタンポポがあります。カントウタンポポかセイヨウタンポポかは花で見分けられます。セイヨウタンポポは1年を通して花が見られますが，カントウタンポポは春にしか花が咲きませんので，調査は4～6月に行ってください。

安全上の注意

・他の人の土地に入るときには，持ち主に前もってことわっておきましょう。
・車の交通量が多い道路での調査は，あぶないのでやめましょう。

調べ方

準備するもの

・記録用紙
・地図
・植物図鑑(ずかん)
・筆記用具
・カメラ

1　調べる場所を決める。

学校のグランド，自分の家の近く，タンポポがたくさんさいているところなど，自分で調べるところを決めてから活動をはじめましょう。場所は，学校内といった広いとり方ではなく，グラウンド内，校舎北側，プール南側など範囲(はんい)を決めた方がいいでしょう。

2　調べる場所はどんなところかを調べる。

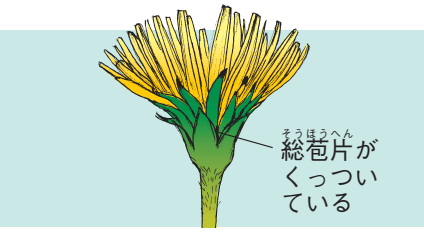
① 今から調べる場所がどこなのかを地図上で確かめましょう。くわしい住所が分かれば記録しておきましょう。
② その場所は，どのように使われている場所かを記録しておきましょう。

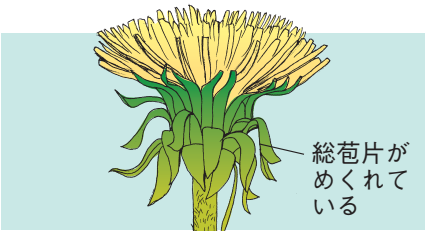
例　グラウンド，家の庭，あき地，道路のわき，田んぼのあぜ道など

3　カントウタンポポかセイヨウタンポポかを見分ける。

カントウタンポポ

セイヨウタンポポ





新たなタンポポ（中間型のタンポポ）が，今ふえています！

最近では，カントウタンポポとセイヨウタンポポとのあいのこ（中間型のタンポポ）が数多く見られることが知られています。ある調査では，セイヨウタンポポの約90％があいのこだったそうです。このあいのこは，総苞片が少しめくれています。このめくれが確認できたら，セイヨウタンポポとして扱って下さい。

このように，日本にもともと生えていたものと外国から入ってきたものとがかけ合わさって新しい植物ができてしまうのは，遺伝子の上で大きな問題となっています。

4　どこに，どのタンポポがあったかを地図に記録する。

地図には，できるだけ生えていた場所をくわしく記録しましょう。

5　調べた結果について話し合う。

①　タンポポの数が多いところは，どんなところでしょう。

②　カントウタンポポが多いところはどんなところでしょう。また，セイヨウタンポポが多いところはどうでしょう。

タンポポ調べの結果は，当館ホームページの「みんなで調べよう茨城の自然」に入力することができます。調査結果を記録してみましょう。
http://www.nat.pref.ibaraki.jp

参考となる資料

㈶日本自然保護協会．1994．指標生物自然をみるものさし．平凡社．

【太田】